

厚生

市内学童保育所(上陽北汙学園区、みさき学園区、岡山小学校区)の現状を調査

厚生常任委員会では、1月15日に学童保育所3カ所の現状を調査しました。

八女市放課後児童健全育成事業では、放課後等に保護者が就労等で不在となる家庭の小学生に対し、適切な遊びや生活の場となる施設を学童保育所として開所しています。

平日は放課後から18時、休業日は7時半から18時、共に19時まで延長が可能です。料金は、1回200円、月に最大千円までです。基本利用料金は、月額5500円で、休業期間は別途、設定されています。

国の基準では、一クラス当たり40人以下に支援員2名以上、児童一人当たり1.65㎡以上の面積確保が望ましいとされる中、上陽北汙学園区学童保育所では、1クラスの定員35人に対し、在籍数は25人。一方、岡山小学校区学童保育所では、令和6年度に仮設のプレハブ施設を増設し、4クラスで、定員186人に対し166人が在籍しています。

児童の入退室は、ICカードで管理され、保護者のスマホ等と連携している学童保育所もあり、保護者が安心して預けられる仕組みです。

また、視察時は、建築中であったみさき学園区学童保育所は、地盤の補強工事や物価高騰などにより、建築コストがかさみ、契約額は1億4080万円。定員120人に対し、視察時点で102人が申込みをされており、学童保育所内に3クラス建築されていました。



上陽北汙学園区学童保育所
視察の様子

調査を終えて

同じ八女市内でありながら、地域により、児童を取り巻く環境が大きく違うことを確認しました。子育てしやすい八女市へ学童保育所の環境整備の必要性を感じました。

水町 典子

総務
文教

小学校(長峰、上妻)の校舎老朽化・特別支援学級・給食提供状況を調査

総務文教常任委員会は、2月7日に市内2校の公立小学校現地調査を行いました。

長峰小学校校舎(東棟)外装工事及び特別支援学級、給食室設備状況調査

校舎の老朽化に伴い、雨漏り、ひび割れがあったため、来年度までの2年計画で校舎の外装工事が行われていました。特別支援学級は6クラスあり、担任に加え市独自の支援員の配置により、子どもたちも落ち着いて学んでいるとのことでした。給食については、老朽化に伴う給食室設備の整備に努めているとのことでした。また、アレルギー対応には職員間で連絡を取り合い、とくに力を入れているとのことでした。校舎内側の改修も必要だが、とくに古くて暗いトイレの改善をとの声が出されました。

上妻小学校校舎全般及び特別支援学級教室環境、給食調査

校舎の大規模改修後20年以上が経過し、校舎外装及び内装の改修が必要なため、状況を確認しました。外装改修は、令和9年～10年で計画しているとのことでした。

特別支援学級は6クラスあり、担任に加え市独自の支援員の配置により、スムーズに運営できているとのことでした。給食のアレルギー対応にも万全を期しているとのことでした。

委員全員で給食を試食しました。根菜を多く使った温かいスープ、温かさの残る魚のてんぷらとキャベツの塩あえ、柔らかでおいしい食パンにジャム、牛乳の献立で、一食260円の低コストで工夫されていました。校内放送では、給食委員会から献立の説明もあり、食育の大事さも感じました。



給食試食の様子

調査を終えて

小中学校校舎は、長寿命化計画により既存校舎を使い続けています。一方で、施設の老朽化対策及び施設整備を万全に行わなければなりません。市の施策の優先度を引き上げ、スピード感をもって、子どもたちの学校教育環境の改善に引き続き取り組みます。

古賀 邦彦